

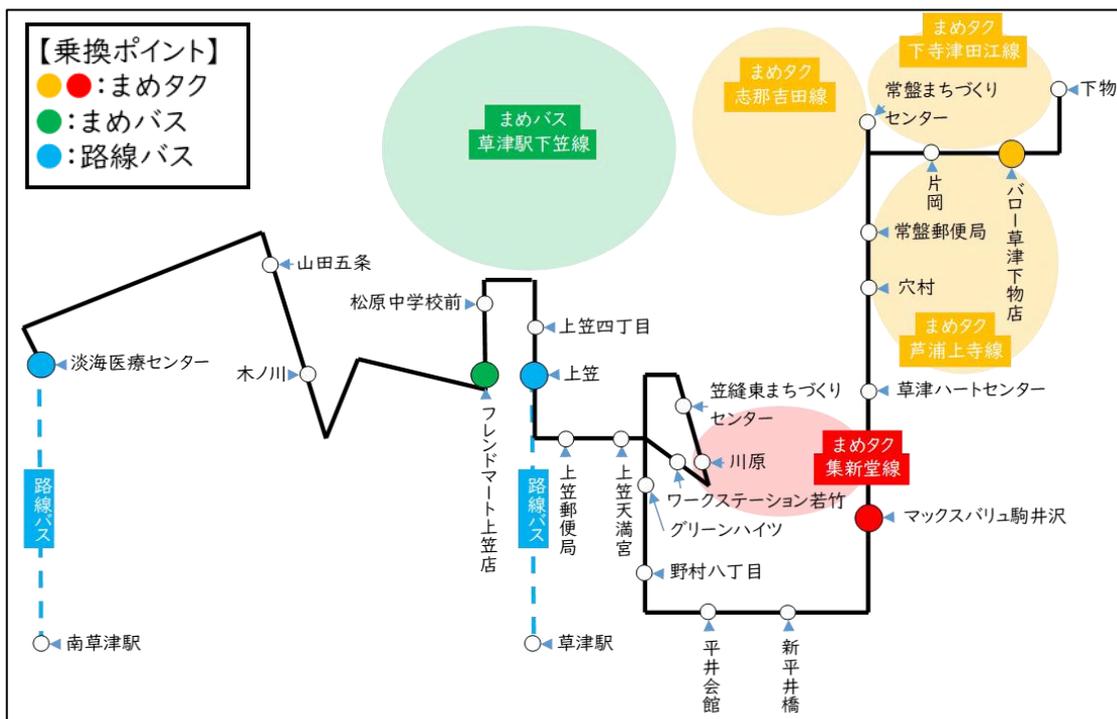
草津市無料送迎バス活用実証事業の今後の方向性について

草津市無料送迎バス活用実証事業については、福祉分野等と連携した移動手段の充実を図るべく、社会医療法人誠光会（以下「誠光会」という。）の送迎バスを活用し、草津北部地域から淡海医療センターまでの区間を、既存の公共交通と連携またはこれを補完する交通手段として下記のとおり、本年3月31日までの期間で実証運行しております。

当該事業の本格運行の判断については、令和7年12月までの利用者数、利用者等の意見のほか、既存交通への影響等を加味して事業評価を行うこととしており、今般、今後の方向性について以下のとおり実証期間をもって終了することといたします。

1 実証事業概要

- 運行体制 誠光会を運行主体とし、市は運行経費の一部を補助
- 実証期間 令和7年5月1日から令和8年3月31日までの平日
- 運行便数 5便/日（往路（淡海医療センター行）3便、復路（パロー草津下物店行）2便）
- 利用方法 来院者以外も停留所で自由に乗降可能（無料）
- 運行ルート



- 周知方法 市および誠光会ホームページ・広報誌、地域イベントや病院での案内、福祉関係者への案内 など
- その他 来院者、乗客および運行地域でのアンケート調査の実施

実施時期：令和7年11月
 方法：①沿線居住者を無作為抽出し郵送
 ②来院者や乗客に直接手渡し
 有効回答数：238名



2 事業評価等（実証事業実績）

下記の事業評価を踏まえ、誠光会と協議を行った結果は以下のとおりです。

○事業評価1 1便あたりの利用者数、利用者等の意見（アンケート調査）

評価基準	目標	結果		
		11月	12月	1月
1便あたりの淡海医療センターの利用者数	5名	2.5名	2.4名	1.9名
1便あたりの淡海医療センター以外の利用者数	2名	0.7名	0.6名	0.5名

→ 運行当初から1便あたりの利用者数が目標の50%を上回ることはありませんでした。

アンケート項目抜粋	結果（利用者等の意見）
認知状況	来院者の58.8%、沿線居住者の40.7%が認知
当該事業の継続希望	全体の88.1%が有料無料に関わらず継続希望

→ 来院者の約6割、沿線居住者の4割以上の方に認知いただき、約9割の方が有料無料に関わらず継続を希望されたものの、利用者数の状況は低調です。

○事業評価2 既存交通への影響

評価基準	結果
近江鉄道バスと重複する「上笠～淡海医療センター」間の利用者の状況（12月の往路利用者数）	1便あたり0.08名
運行前の移動手段（アンケート結果）	63.1%が以前から公共交通を利用

→ 路線バスと重複する上笠～淡海医療センター停留所間の利用は少数だったものの、アンケートでは約6割の方が「以前から公共交通を利用している」と回答されたため、既存交通への影響はある程度は生じていたと考えます。

○誠光会の意向

- ・利用者数が目標満たしておらず運行継続は困難
- ・来院者サービス向上のため、利用の多かった停留所は既存送迎バスの延伸を検討

3 今後の方向性

利用者数が目標を満たさないことに加え、誠光会においても既存ルートでの事業の継続が困難との判断がされました。当該事業は民間事業者の協力が必要不可欠であるため、実証期間をもって終了し、本格運行への移行はいたしません。

なお、当該事業で把握ができた利用実績やアンケート結果を参考に、まめタク路線の継続的な見直しや誠光会とともに既存送迎バスの延伸について検討を進めるとともに、その他の民間送迎バスの活用可能性を調査・検討し、多様な移動ニーズに応じた生活交通の確保に向け、引き続き取り組んでまいります。

4 今後のスケジュール

令和8年3月～ 事業終了周知（市および誠光会ホームページ・案内チラシ配布）
令和8年3月31日 事業終了